

科学者委員会・男女共同参画分科会（第22期・第10回）  
議事要旨

- 1 日時 平成26年1月27日（木）16:00～18:00  
2 場所 日本学術会議事務局 5-B会議室  
3 出席者 江原由美子委員長、小館香椎子副委員長、有信睦弘幹事、清水誠委員、  
辻村みよ子委員、樋口美雄委員、萩原一郎委員、桃井眞里子委員、  
新井民夫委員、井野瀬久美恵委員、太田喜久子委員、太田恭子調査員  
（計12名）

4 議題

- (1) 男女共同参画に関する学協会ヒアリング、大学アンケート調査の経過報告について  
(2) 報告書作成の検討について  
(3) シンポジウムの実施検討について  
(4) その他

【配付資料】

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・資料1 男女共同参画に関する学協会ヒアリング、大学アンケート調査の経過報告について</li><li>・資料2 対外報告案</li><li>・資料3 シンポジウムプログラム案</li></ul> |
|---|

5 概要

- ・議題1 男女共同参画に関する学協会ヒアリング、大学アンケート調査の経過報告について

先進的事例として14の学協会に対するヒアリングを実施。女性限定の奨励賞。次世代育成のための女性研究者支援（キャリア相談会）や学協会などのリーダー育成事業などを実施。こうしたポジティブアクションにつながることは、イノベティブであり、今後のステップアップにつながるなどの意見があった。

また、大学アンケートは、私立大学の回答が342となったこと（国立は61校、公立は40校から回答）や、2月中に単純集計・クロス集計の結果をワーキンググループに報告する予定あることなどが紹介された。

- ・議題2 報告書作成の検討について

報告書の骨格及び執筆分担が以下のとおりとなった。また、原稿は20ページ程度。37文字、35行。11ポイントを目安とするとされた。3月25日（火）を原稿締め切りとし、各標題につき、原稿を事務局に送付し、次回分科会に諮ることとなった。

（ ）はページ数

- 1 はじめに  
国の施策、女性研究者国際比較、本報告書の主要な論定等 (2)
- 2 学協会に対するアンケート・ヒアリング調査報告 (3)
- 3 第3回大学アンケート調査 (7)
- 4 学術における男女共同参画の現状と課題

- |                           |     |
|---------------------------|-----|
| (1) 大学における課題と推進策          | (1) |
| (2) 独立行政法人の研究機関における課題と推進策 | (1) |
| (3) 学協会における課題と推進策         | (1) |
| (4) 企業の研究所等における課題と推進策     | (1) |
| (5) 政府・政府系機関における課題と推進策    | (1) |
| (6) 医療組織における課題と推進策        | (1) |
| <br>                      |     |
| 5 研究者データベースにおける複数姓登録について  | (1) |
| <br>                      |     |
| 6 まとめ                     | (1) |

・ 議題3 シンポジウム実施検討について

講演タイトルの一部変更や報告者の一部追加などがあったが、5月31日開催案（「男女共同参画は学問を変えるか？」）が了承された。

・ 議題4 その他

次回開催は、4月11日（金）17時～とされた。

(以上)